

令和3年3月

# 伊東市議会 3月定例会

## 一般質問要旨

伊東市議会

## 一 般 質 問 順 序

- 1 佐 藤 周 君  
(3月4日(木) 10時～10時50分)
- 2 杉 本 一 彦 君  
(3月4日(木) 11時～11時50分)
- 3 長 沢 正 君  
(3月4日(木) 13時～13時50分)
- 4 四 宮 和 彦 君  
(3月4日(木) 14時～14時50分)
- 5 佐 藤 龍 彦 君  
(3月4日(木) 15時～15時50分)
- 6 鳥 居 康 子 君  
(3月8日(月) 10時～10時50分)
- 7 杉 本 憲 也 君  
(3月8日(月) 11時～11時50分)
- 8 重 岡 秀 子 君  
(3月8日(月) 13時～13時50分)
- 9 鈴 木 絢 子 君  
(3月8日(月) 14時～14時50分)
- 10 田 久 保 眞 紀 君  
(3月8日(月) 15時～15時50分)
- 11 浅 田 良 弘 君  
(3月9日(火) 10時～10時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 周

1 80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目的とする「8020運動」への入り口として、幼児期から学齢期における予防歯科への取組について、以下3点伺う。

(1) 保育園・幼稚園及び小・中学校における給食後の歯磨きの実施状況について

(2) 子供の歯列矯正に取り組むべきか悩む保護者への一助として、歯列矯正のための初診費用やマウスピース購入費用の補助など、経済的な負担軽減を図る支援策等を講じる考えはないか伺う。

(3) 虫歯をつくらないための定期的な歯科医院への受診を勧奨するため、歯石除去、フッ素塗布、クリーニングなどの予防歯科に対し費用補助等の支援策を講じる考えはないか伺う。

2 乳児家庭全戸訪問などの、家庭訪問型の子育て支援事業について、リモートによる家庭の状況把握を補助的に導入し、家庭訪問と併用することで、母子への負担軽減や支援員の業務効率化が図られ、支援の充実につながると考えるが、いかがか。

3 令和5年度に予定されている東小・西小・旭小の統合に関し、統合後の校舎として使用される東小学校施設について、バリアフリー化を考慮した改修が必要と考えることから、以下4点の設備の現状及び今後の整備方針について伺う。

(1) 身体障がい者用駐車スペースについて

(2) 車椅子利用者を想定した、校舎出入口へのスロープ設置について

(3) 車椅子用の階段昇降設備について

(4) 多目的トイレについて

4 令和3年度から始まる第五次伊東市総合計画における第十一次基本計画の政策目標4には、青少年の健全な育成のため、地域の協力が必要不可欠である旨がうたわれているが、近年、地域と子供たちとの関係性が希薄になり、子供が中心となっていく地域活動も減っていると感じることから、市内15行政区における、青少年育成会、子供会、スポーツ少年団等の組織数の変遷について伺う。

5 コロナ禍における市民の健康増進と観光振興を目的として、本市の観光資源である一碧湖や松川湖を活用し、マスクを着用したままでも高齢者や体力に不安のある方が参加できるウォーキング大会を開催すべきと考えるが、いかがか。

6 令和3年度から始まる第五次伊東市総合計画における第十一次基本計画のうち、政策目標4に掲げられている「未来を創る教育の充実（小・中学校）」において、インクルーシブ教育システムの構築とあるが、その具体的な取組内容について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 内閣府地方創生推進室が2018年度から毎年取り組んでいる「SDGs未来都市」の選定については、本年も都市選定の募集がされたところであるが、風光明媚な本市の将来のまちづくりを考える上で、持続可能な開発目標の推進に取り組むことは有意義であると考えことから、SDGs未来都市の選定に向け、準備を進め応募すべきと考えるが、市長の考えを伺う。
  
- 2 伊豆半島景観協議会によると、伊豆半島における違反広告物の是正状況は、令和2年12月末時点で、指導開始時の違反数に対し約9割が是正されたとのことであるが、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催までの是正完了を目指す中、他市町と比較すると本市の是正率が向上していないことから、その要因及び今後の対策について伺う。
  
- 3 将来のまちづくりを考える上で、市有地の利活用の方法を検討し、その方向性を見いだしていくことが重要であると考えことから、次に掲げる市有地について、今後の利活用等の展望を伺う。
  - (1) 宇佐美臨海テニス場跡地
  - (2) 清掃事務所移転用地
  - (3) アピタ前公営住宅用地
  - (4) 天城高原に隣接する市有林

4 市内小・中学校の統廃合の議論が進められる中、東小学校・西小学校・旭小学校の3校については、東小学校校舎を統合先とし、令和5年度に統合されることが決定しているが、東小学校の校舎は、統合先としては手狭に感じるとともに、老朽化も進んでいることから、校舎の建て替えや改修等が必要と考えるが、市長の考えを伺う。また、市内全体の小・中学校施設の建て替えや改修等について、将来の展望をどのように考えているか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 長 沢 正

1 政府が推進する自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の重要性に鑑み、行政手続のデジタル化について、以下3点伺う。

(1) マイナポータルにおける「ぴったりサービス」の活用状況について

(2) 押印廃止の取組状況について

(3) デジタル活用に不安のある方へのサポート体制について

2 市内で発生しているナラ枯れにより倒木等の危険性が懸念されることから、ナラ枯れ被害の現状及び防止策について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 2月9日、若山副市長が「前市長の収賄事件の責任を取る」として、任期満了前の3月31日付での退職を表明されたことに関し、以下4点について、市長の考えを伺う。
  - (1) 贈収賄事件に係る土地取引が行われた当時、市幹部職員であった副市長が、この時期に責任を1人引き受け、自らのけじめとして辞職するとの申出を、どのような考えで承認したのか伺う。
  - (2) 贈収賄事件を受け、行政としても様々な組織改革に取り組んできたと思われるが、具体的にはどのような改革に取り組み、どのような成果を得たのか伺う。
  - (3) 12月定例会時、贈収賄事件を巡る私の質問に対し、「土地取得価格決定に係る背任について損害賠償を求める考えはない」旨の回答があったが、前市長による贈収賄事件に係る行政が負うべき責任については、副市長の辞職をもって果たされたと考えているのか伺う。
  - (4) 責任を取ったと言えるためには、行政組織内に内部統制制度が確立されていることが最低限必要であると考えているが、内部統制に関する方針の策定は進められているか伺う。
- 2 学校徴収金の公会計化に係る本市の状況について、以下3点伺う。
  - (1) 学校徴収金はどのような制度に基づき事務処理が行われているか伺う。
  - (2) 伊東市を所管する東豆地区学校生活協同組合は学校徴収金の支出にどの程度関わっているのか伺う。
  - (3) 学校の授業等において必需品となっている物品等で、その費用について、生徒・保護者において負担をしているものについては、本来であれば公費で全額負担するべきであると考えているが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するためには、無症状感染者を特定することが重要であり、誰もが自らの判断で検査を受けることができる体制を構築すべきと考えることから、市として、検査費用に対する助成をすべきと考えるが、いかがか。

2 公共交通におけるタクシーの利用は、交通弱者にとって大変有効な手段であると考え  
るが、伊東市地域公共交通網形成計画の中で、タクシー利用についてどのような課題が  
あり、また、どのような利用方法が検討されているか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 高齢者の生活の足を確保するための住民主体の移動支援に関し、担い手を養成するためのセミナーの開催状況を伺うとともに、今後、どのように支援に取り組んでいくのか伺う。
  
- 2 介護サービス事業所においては、令和3年度から資格を持たない介護職員の認知症介護基礎研修の受講が義務化されるが、市として、どのような支援が考えられるか伺う。
  
- 3 男性の育児休業の取得が推進されている状況を踏まえ、本市男性職員の育児休業の取得状況について伺う。また、男性職員の育児休業の取得の推進に向け、どのように考えているか伺う。
  
- 4 妊娠・出産から就学前の子育て期までを切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター」について、全国的に設置が進んでいる状況に鑑み、本市においても、あらゆるサービスを一体的に提供できる仕組みとしてセンターを設置し、窓口の一元化を図る考えはないか伺う。
  
- 5 国が取り組む「結婚新生活支援事業」については、令和3年度からの制度拡充により補助上限額が倍増するとのことであり、コロナ禍における婚姻数減少の一因である経済的不安の払拭に効果があると考えことから、本市としても、少子化対策を視野に入れる中で、同事業に取り組むべきと考えるが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

1 令和2年度伊東市一般会計補正予算（第8号）における会計年度任用職員報酬の過大減額に関し、以下2点伺う。

(1) 人件費の積算に係る手順を伺うとともに、その手順のうち、当該誤りの原因は具体的にどの部分にあったか伺う。

(2) 再発防止に向け、具体的にどのように取り組んでいるか伺う。

2 2歳児以下の子供が保育所に通園している場合、第2子以降の出産に伴い親が育児休業を取得するときなど、当該2歳児以下の園児は保育所を原則退園しなければならない、いわゆる「育休退園」制度があり、現状、親の出産育児に大きな負担となっていることから、移住定住の促進を視野に入れた子育てしやすい環境整備の観点から、当該制度を撤廃すべきであると考えているが、いかがか。

3 まちづくりの要となる都市公園の整備状況について、コンプライアンスの観点から、以下2点伺う。

(1) 本市の都市公園整備のルールである伊東市都市公園条例に関し、以下2点伺う。

ア 市民1人当たりの面積基準として、「市の区域内の公園の住民1人当たりの敷地面積は、10平方メートル以上」と定めているが、当該基準の達成状況を伺う。

イ 公園の配置及び規模の基準として「主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園 街区内に居住する者が容易に利用することができるように配置し、その敷地面積は、0.25ヘクタールを標準とする。」などと定められているが、当該基準の達成状況を伺う。

(2) 都市公園の分布の均衡状況及び各都市公園の利用者を増やすための方策に対する本市の認識を伺うとともに、都市公園整備に係る将来的なビジョンを伺う。

4 持続可能なまちづくりの観点から、空き家問題の解消策及び本市の要となる若年層の移住定住の促進策として、市が空き家の寄附を募り、大規模改修を行った上で、若年移住者に提供する「空き家リノベーション」事業を創設すべきであると考えているが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 空き家対策について、以下2点伺う。

(1) 市民から寄せられる空家についての相談内容を伺うとともに、相談により空家の解消につながった事例があるか伺う。

(2) コロナ禍において働き方や暮らし方が変化する中で、本市でも別荘分譲地などで中古物件の販売が好調であると聞くが、静岡県主催の相談会の利用促進や市独自の相談会開催により、さらなる空き家の解消を図るべきと考えるが、いかがか。

2 世界ジオパークの再認定審査を控える伊豆半島ジオパークについて、以下2点伺う。

(1) 伊豆半島ジオパークの地学的価値を市民や観光客により分かりやすく伝えるため、伊豆半島ジオパークの価値を伝える映像を、様々な場面で活用すべきと考えるが、いかがか。

(2) アフターコロナでの誘客を推進していくため、宿泊施設や土産物店等の従業員を対象としたジオツアーを開催し、ジオパークをもっと知り、語れる市民を増やすべきと考えるが、いかがか。

3 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年、約3か月間行った小・中学校の臨時休業による児童・生徒への影響について、以下2点伺う。

(1) 学力への影響及びその対策について

(2) 不登校をはじめとした、子供への精神的な影響及びその対策について

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

- 1 地球温暖化に対する本市の取組について伺う。
  
- 2 若者の定住を促進するため、高校卒業後の大学等への通学費を支援する考えはないか伺う。
  
- 3 伊東自然歴史案内人養成講座は、現在、平日に開催されているが、より幅広い年齢層の市民の郷土愛の醸成につなげるため、講座の内容をオンライン配信する考えはないか伺う。
  
- 4 子供の居場所が少ないという声を聞くことから、子供の居場所づくりに関し、以下2点伺う。
  - (1) 子ども食堂の現在の取組と課題を伺う。
  
  - (2) 放課後子ども教室の現在の取組と課題を伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

- 1 本市は現在418棟の公共施設を所有しており、そのうちの約79%に当たる330棟が老朽化しているとのことであるが、改修・廃止や新設を含めた今後の計画及び維持管理について伺う。
  
- 2 新たな総合計画が策定されるが、まちづくりを進めるに当たり、将来に向けどのようなまちを目指すのか伺うとともに、実現するための考えを伺う。
  
- 3 (仮称)伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について、以下2点伺う。
  - (1) 建設予定地の現状について、ブルーシートの破れやのり面にクラックなどが発生しているが、本市が把握している状況及び今後の対応について伺う。
  
  - (2) 令和元年5月29日付、本市の「経済産業省への確認」という文書が作成された経緯及び当該文書作成の発端である経済産業省からの平成31年4月26日の電話照会の内容について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 小野市長就任以来、毎年実施している地域タウンミーティングにおいて聴取した地域の課題について、本市の将来像実現のための基本計画である「第五次伊東市総合計画第十一次基本計画」に示される5つの政策目標及び構想の推進にどのように生かされるのか伺う。
  
- 2 医療・福祉の人材確保と移住者に対する支援を目的とした施策として、令和2年10月から実施している「はじめよう I T O 新生活応援事業」に関して、以下3点伺う。
  - (1) 対象を医療・介護・福祉関連の資格に限定した理由について伺う。
  
  - (2) 対外的周知及び市内の医療・介護関連事業所等への周知について伺う。
  
  - (3) Uターン就職者が補助対象となる条件について伺う。
  
- 3 本市の区域における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「伊東市国土強靱化地域計画（案）」について、計画の概要及び今後の計画の進め方について伺う。
  
- 4 2020年の国土交通省による調査で、安全性確保が必要と判定したバス停留所が36道府県で7,325か所にのぼることが判明したが、本市においても、横断歩道前で停車したバスの前を通り、横断歩道を渡り始めた児童が、バスを追い越してきた車両と接触する事故の報道もあったことから、危険箇所をなくすため、どのような取組を進めていくのか伺う。

5 高齢者の移動・外出に関する支援策として、高齢者移動支援ボランティア育成のためのセミナーを静岡県と本市により開催しているが、今後どのように支援に係る事業を進めていくのか伺う。

6 令和5年度からの統合を予定している東小・西小・旭小の3校の教育現場や保護者に対し、統合に向けた基本構想として、統合後の学区、教育環境、通学支援など全15項目について説明しているとのことであるが、基本構想の実現に向けて今後どのように進めていくのか伺う。